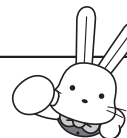


市政を問う！

代表質問

議員の一般選挙後に初めて開催した9月定例会議では、各会派を代表する6人の議員が会派の理念を表明し、政策的な議論を行いました。

代表質問の中から、質問および答弁の要旨を1件、その他の質問を項目のみ4件掲載しています。



真結の会



基本計画の着実な

実現への取り組み

鈴木 正実

Q 福島市総合計画後期基本計画の実現のために示された第4次実施計画における重要課題と優先順位、取り組みは。

A 元氣あふれる福島市の新ステージに向けた取り組みを推進している。家庭総合支援拠点事業などによる子育て環境の一層の充実や除染除去土壌の搬出による市民生活の安全安心の確保、道の駅整備事業や東京2020大会を契機と



したまちづくりのグレードアップ、まちづくり構想による歴史・文化と次世代環境が調和したまちづくりを着実に推進する。

その他の主な質問

- ① 聖火リレーの受け入れ体制や歓迎セレモニーの計画、野球・ソフトボール競技の開催準備や合宿誘致、市民による受け入れ体制の整備
- ② 新規就農者の推移と分析、農家人口の現状、農業の担い手育成と確保の見通し
- ③ 待機児童と放課後児童クラブの現状と待機解消への取り組み
- ④ まちづくり事業の進捗よくと今後の見通し



真政会



風格ある県都を目指す

まちづくり構想の実現に

向けた財政運営

白川 敏明

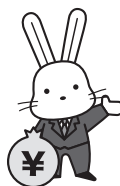
Q 令和5年度までの中期財政収支見通しにおける財政調整基金マイナースへの対応は。

A 今後、駅前再開発や公共施設の再編整備およびバリアフリー化、待機児童対策や学校環境整備さらには地域振興施設の整備などさま

ざまな面で急を要する事業が山積している。

厳しい財政運営が予測される中、先送りせず着実に事業を実施するとともに、健全な財政運営を目指して行かなければならない。

そのため、これまで以上に行政経費の節減、合理化や既存事務事業の見直しによる財源の捻出に加え、自主財源の確保や有利な市債の活用を図りながら、職員の財源確保に対する意識を高め、中長期的な視点に立った歳入の涵養につながる経済活性化策の展開などにより健全な財政運営に努める。



その他の主な質問

- ① 今後の連携中枢都市圏の構想を含めた広域連携のあり方
- ② 公共施設整備の方向性を含めた市としての見解
- ③ 河川の雑草木の除去など、河川環境の今後の整備方針
- ④ 連続テレビ小説で取り上げられた人物・場所などを本市の歴史として残し、観光振興にも活用



市民21



福島市総合計画と

自治振興協議会

高木 克尚

Q 次期総合計画の策定段階において、地域のまちづくりに取り組む中心的組織としての役割を担っている自治振興協議会との関わりは。

A 自治振興協議会は、市民との協働のまちづくりを進める上で、中心的な役割を担う重要な組織であるため、ふくしま新ステージ有識者懇談会委員に自治振興協議会連合会会長にも就任いただき、大所高所の視点で活発な議論をいただいている。また、現計画は、各地区の自治振興協議会が主体となり策定した地域の個性を生かしたまちづくり計画により、地域の取り組みを進めているところであり、次期総合計画においても、そのような取り組みを継続し、さらなる市民との協働のまちづくりの充実を図る。



その他の主な質問

- ① 道の駅整備後の農業振興の果たすべき役割と次期総合計画への継承
- ② 農業の担い手確保や気候変動対策への事業の成果・課題・対応そして次期計画への継承
- ③ 分野毎個別計画ではない基幹産業としての農業施策の位置づけ
- ④ 福島大学食農学類との連携と次期総合計画への盛り込み方針



公明党



女性の就労支援と 雇用環境の充実

後藤 善次
ごとう ぜんじ

Q 女性の就労支援、雇用環境の充実に向けての意識づくりや環境づくりの取り組みは。

A 社会経済の活力を持続発展させるには、女性が働きやすい職場環境を整備することが、全ての人のとって働きやすい環境につながるものと考えている。

女性活躍・働き方改革推進事業による、再就職に必要な知識とスキルの習得や、働く女性応援企業認証事業による職場環境づくりの普及啓発を引き続き行う。



また、女性の進出が少ない業種の関係団体にも、仕事と子育て、家庭生活の両立など女性が働きやすく、より活躍できる職場環境づくりの要請活動により、雇用環境づくりの普及啓発に努める。

その他の主な質問

①企業誘致のための新たな工業団地整備

②防災・減災に向けた社会インフラの老朽化

対策の推進

③公共交通の再編、地域協



働による持続可能な交通網の確保
④下水道区域の見直しと合併浄化槽の普及

日本共産党

幼児教育・保育の 完全無償化



完全無償化
むらやま くにこ
村山 国子

Q 政府は、消費税10%増税は、幼児教育・保育の完全無償化の財源と広報していたが、年収360万円以上の世帯は、おかずや、おやつなどの副食費を徴収されることになり、また、2年目以降は自治体の負担も発生してくることへの見解は。

A 現行制度においても、保育料に含めて副食費を徴収しており、在宅で子育てをする場合でも生じる費用であること、義務教育における学校給食や、他の社会保障分野の食事も自己負担されていることを踏まえ徴収するものである。副食費を除いた保育料のみを無償化するというのが国の考え方である。

2年目以降の自治体において発生する事務費などは、全額を国において措置されるべきものと考えている。



その他の主な質問

①市民が命の危険にさらされる恐れのある憲法改悪に反対すべき

②無秩序なメガソーラー開発を抑制

するための条例を制定すべき

③国が実施するまで市が独自に副食費の全世帯無償化を実施すべき

④高齢化社会に即して郵便投票ができる条件の緩和を国に求めるべき

社民党・護憲連合



福島市人口ビジョンに
おける人口推移
はねだ ふうお
羽田 房男

Q 福島市総合戦略の重要な基礎資料である福島市人口ビジョンにおける人口推移の将来展望は。

A 今年4月1日現在の推計人口は286,295人で人口ビジョン推計人口の公表値である2020年の推計値よりもやや上回っている。



しかし、住民基本台帳人口の減少率と比較するとほぼ同率、またはそれ以上の減少率であり、今後さらに減少率が大きくなることが危惧されることから、引き続き、人口減少対策と地域活性化の各種施策により一層取り組みを進めなければならない。

その他の主な質問

①人口減少に対する積極戦略と調整戦略を同時に推進するための施策

②子どもの居場所づくりバックアップ本部が開催した学習会と相談事業の回数および内容

あなたの写真が市議会だよりの表紙に!?

【Instagram】

わくわくする福島市の写真は#wakufukuで!

今回の表紙写真のように#wakufukuの中から市議会だよりの表紙に使用させていただきます。ぜひご投稿ください。

#wakufukuとは?

わくわくする福島市の写真をInstagramに投稿してほしい! そんな願いから生まれたハッシュタグです。

詳しくは
こちらをご覧ください



市議会だよりの

200号記念展示を行いました

9月定例会議期間中に、福島市の歴史年表とともに、過去200号すべての市議会だよりの表紙および常任委員会の構成ページを展示いたしました。

傍聴者を含め、多くの市民の方にご覧いただきました。

ご来場ありがとうございました。



③色覚バリアフリー推進のための案内表示などの整備状況
④児童生徒の携帯品の量および重量の具体的調査の実施状況

